

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	ホースカーを降ろす際に足を挟まれそうになった
3. 体験した事例の中心的要素	警防調査中にドクターヘリのランデブーポイント支援の出場指令が入り、当隊から中学校のランデブーポイントを指定し現場に向かう。現着と同時に周囲の安全管理及び散水のためホース延長を下命するもBOX積載のホースだけでは足りない判断し、ホースカーに積載してあるホースを車両から下し取ろうとしたが、下降中の隙間から取れると判断し右足を一歩踏み出したところ右足先をホースカー台座と路上に挟まれそうになる。
4. 体験した事例の原因・理由	時間に追われ注意力が散漫になってしまったこと

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かった等)
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成29年1月3日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：道路上に部署しホース延長しようとした時
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	(機器等)巻き込まれ、はさまれ
7. 事例体験時の活動	その他：
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：ランデブーポイント支援活動
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[38]歳、勤続年数[19]年、現場経験年数[19] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[30]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12] 年、階級[副士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	ホースカー上部のホースを取ろうとして	
経過2		ホースカーを車両から出そうとした	
経過3	当事者B	ホースカーを出そうとしていたので	
経過4		ロックを解除しホースカーを下降し始めた	
経過5	当事者A	降ろしている途中で隙間からホースを取れると	
経過6		判断し、右足を一步踏み出した	
経過7	当事者B	当事者Aが右足を踏み出したことに気づかず	
経過8		そのままホースカーを下降していた	
経過9	当事者A	そのため路上とホースカー台座に右足つま先	
経過10		付近を挟まれそうになった	
経過11			
経過12			

●●●

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

ドクターヘリ到着時間が迫っており、焦りがあった

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

消防ヒヤリハット 状況図

